

備前市事務事業評価シート

事業の概要
事業開始年度: 昭和46年度~
根拠法令・例規等: 水防法
問担当課(室): 危機管理課
職・氏名: 消防防災係長 岡村 巧
電話: 64-1809
事務事業名: 04 水害対策事業
このシート作成に要した時間: 1.0 時間

事業の目的
対象(誰・何に対して): 市民
目的(何のために): 台風、大雨、高潮などによる災害から住民の生命、身体及び財産を守るため、必要な防災対策を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 水害への速やかな対応

事業の実績
事業名: 水害対策資機材整備事業
事業の説明: 土のう、真さ土などの水防用資材の配備。ハザードマップの作成配布
優先度: ◎
事業名: 水害対策整備工事
事業の説明: 避難路等の整備
優先度: ○

事業費等
事業費: 2,308
必要人員: 0.04人
事業費: 2,308
結果指標名: 土のう土設置箇所数

結果指標
結果指標量: 73
対前年比: 101.4%
活動コスト: 559,647
単位当たりコスト: 7,666

事業の成果
成果指標名: 土のう土設置箇所数
年度: 平成23年度(67), 平成24年度(74), 平成25年度(74), 平成26年度目標値(76)
達成率(B/A): 108.96%, 100.00%, 98.67%

事務事業の評価
市の関与の妥当性: 市が実施するよう法令で義務づけられている
コスト削減: コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
市民ニーズ: 市民・団体等から要望・要請が強い
目的達成度: 成果指標の到達目標値は達成できそうである

進行年度(H26年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: 災害に備え、土のう、真さ土などの水防用資材を常に配備しておく必要がある。

総合評価
総合評価: C
台風、梅雨前線による集中豪雨、高潮、局地的なゲリラ豪雨など多様な水害に対処するため、水防資機材を準備し、自主防災組織など地域住民の協力を得て、減災に努めている。

平成27年度の方向性・取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 台風、梅雨前線による集中豪雨、高潮、局地的なゲリラ豪雨など多様な水害に対処するため、水防資機材を準備し、自主防災組織など地域住民の協力を得て減災に努めると同時に、情報提供を図っていく必要がある。



事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな